



あさひかわ応援寄附金 (ふるさと納税)について

市では、まちの魅力を広くPRするとともに、まちづくりの財源を確保するため、ふるさと納税の取組みを推進しています。取組みの一部と現状を紹介します。

【詳細】 税制課番25・5604

寄附金の主な使い道

まちなかの活性化

まちなかのにぎわいをつくるため、買物公園等でのイベント開催の支援に

4,380万528円

子育て支援

経済的な理由で、修学が困難な方への入学仕度金・奨学金の貸付けに

3,845万4,000円

高齢者福祉

高齢者の見守り活動を行うボランティアへの支援や、ふれあいサロンの運営費用に

572万6,900円

環境保全

アライグマやウチダザリガニなどの外来種による被害防止に

237万2,923円

※その他、スポーツ振興や産業振興などの分野にも活用しました。

地場産品で旭川の魅力をPR

市では、一定額以上の寄附をしていただいた市外の方へ、感謝の気持ちを込めて寄附金額に応じた返礼品を送付しています。返礼品は、事業者の皆さんから募集した商品の中から選定しています。

商品を提供している、日乃出食品工業・代表取締役の千葉一紀さんに話を聞きました。



旭川を盛り上げる一助になりたい

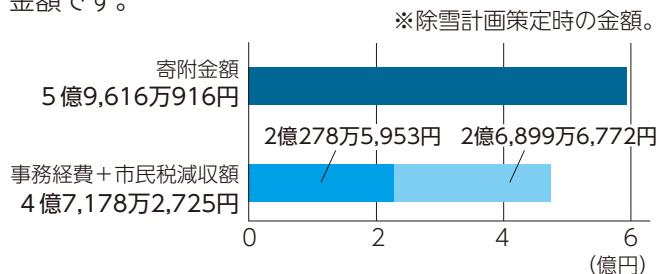
「日乃出ジンギスカン食べ比べ5種セット」は、ふるさと納税の返礼品でしか入手できない商品です。たれには、地元で製造されたしょうゆと日本酒を使用しているため、旭川の魅力をさらにPRできると考えています。ジンギスカンを食べる習慣のない四国や九州の方から注文をいただくことも多いです。当社自慢の商品を通して全国の方に応援（寄附）を呼び掛け、旭川を盛り上げていきたいです。



収支は黒字！一方で…

平成30年度は、過去最多となる延べ2万6,142件、5億9,616万916円もの寄附をいただきました。寄附金額から、ふるさと納税のシステム利用料や返礼品などの事務経費2億278万5,953円と市税の減収額を差し引くと、1億2,437万8,191円の黒字となりました。

なお、旭川市民が市外へ寄附したことによる市民税の減収額は2億6,899万6,772円と推計されます。これは昨シーズンの除雪費のうち、郊外を除く市道除雪の経費（約2億8,000万円※）に相当するほど大きな金額です。



あさひかわ応援寄附金の情報を発信中！

市ホームページやフェイスブックで、最新情報や寄附者からのメッセージなどを見ることができます。

旭川市
ホームページ



あさひかわ
応援寄附金
フェイスブック

